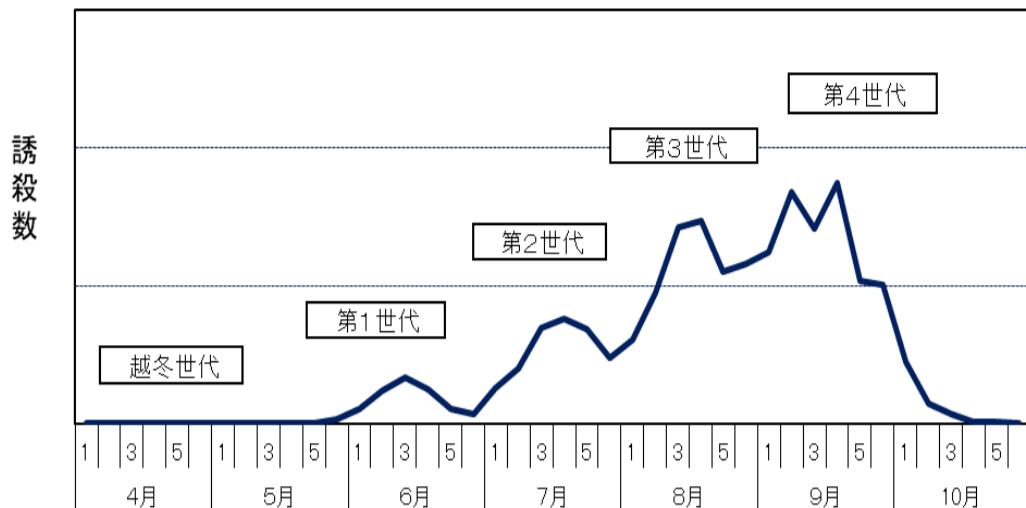


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防治部

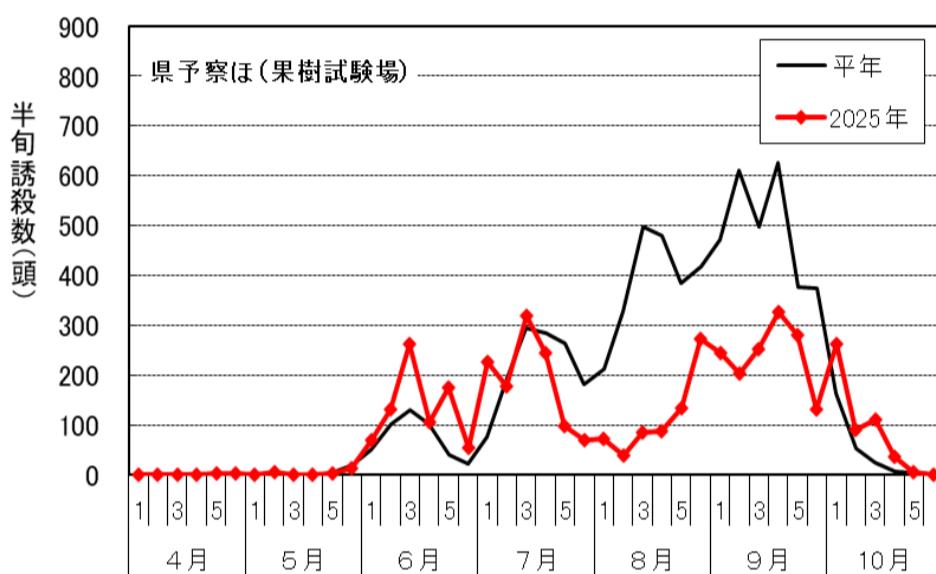
過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



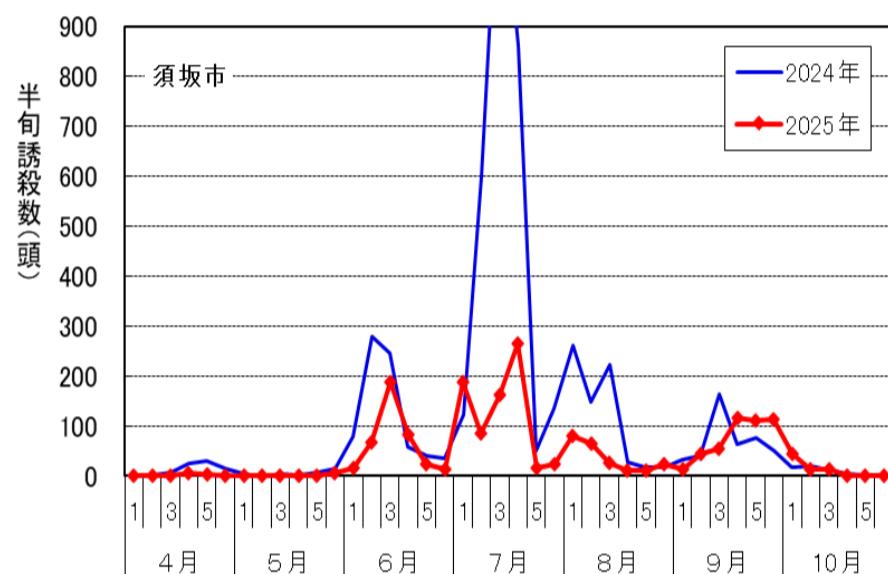
【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
 - ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
 - ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
 - ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



○須坂市（病害虫防除部）



【調查地點】(標高約 350m)

- 須坂市 果樹試験場 (りんごほ場)
 - 平年は 2015 年～2024 年の平均値。

【コメント】

- ・栽培期間の前半（第1、2世代）は平年を上回る頭数が誘殺されていたが、後半（第3、4世代）はほぼ平年の半数以下の状況の年であった。
 - ・10月に入っても200頭を超える誘殺が観察されたうえ、第3半旬でも100頭を超える数が記録され、発生期間の長期化の兆しがみられた。

【調查地點】(標高約 270)

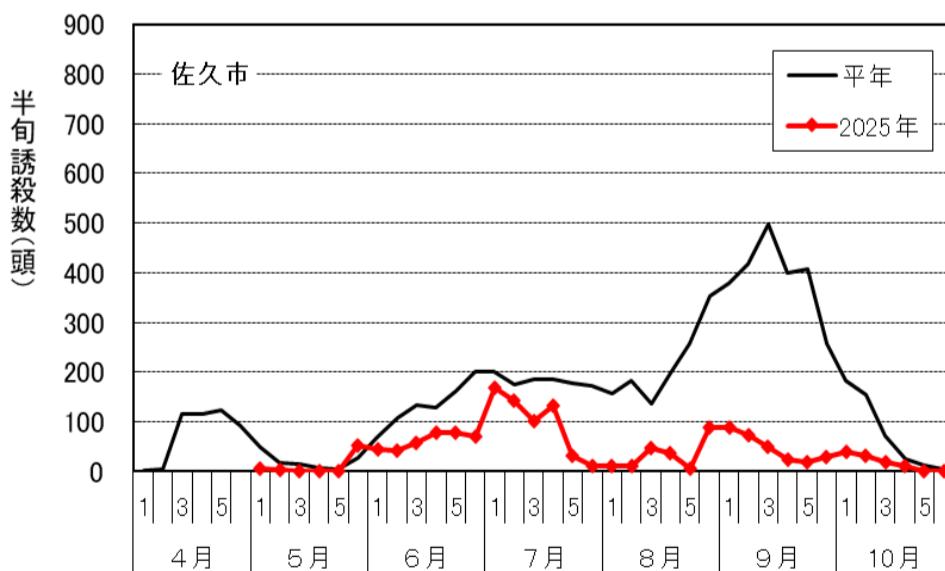
- 調査地点】(標高約370m)
・須坂市(りんごほ場)
2022年からほ場を変更したため、平年値なし

• 2023 年九月

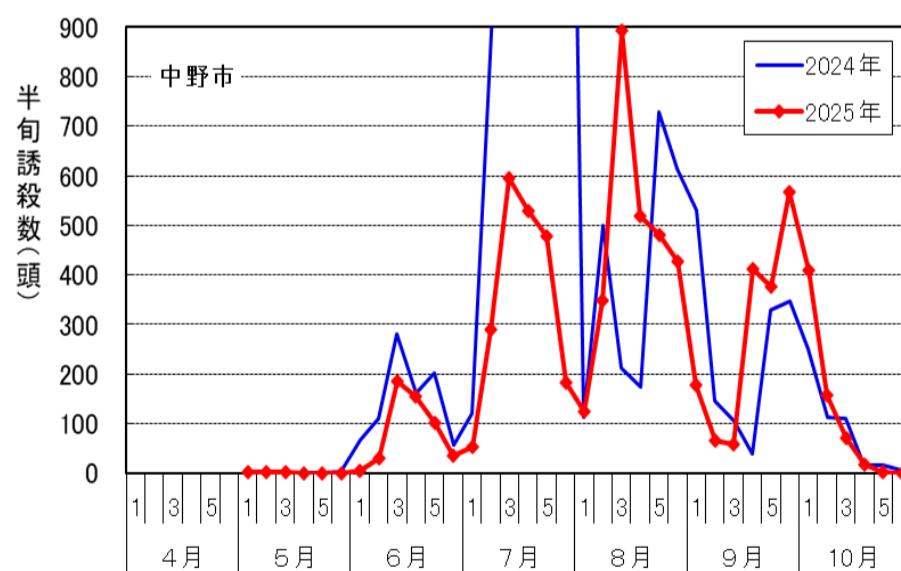
- 【コメント】

 - ・昨年に比べ誘殺数が少なく、特に夏場の第2世代の誘殺頭数が昨年よりかなり少なかった。
 - ・終盤の第4世代の発生は昨年より遅くまで高いまま継続し、発生期間の延長傾向が認められた。

○佐久市（佐久農業農村支援センター調査協力）



○中野市（病害虫発生予察ほ）



【調查地點】(標高約 680m)

- ・佐久市（りんごほ場）
 - ・平年は 2015 年～2024 年の平均値。

【コメント】

- ・ほかの地区と比べて誘殺頭数の変動幅が小さい傾向がみられた。
 - ・栽培期間を通して、平年より誘殺頭数が少ない年であり、特に9月以降の秋の誘殺頭数が平年より大幅に少なかつた。

【調查地點】(標高約 450m)

- ・中野市（りんごほ場）
 - ・2023年には場を変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・栽培期間の前半(第1、2世代)の誘殺頭数は前年より少なく、後半(第3、4世代)は前年より多かった。
 - ・誘殺頭数の変動が他の地区よりかなり大きかった。